

留萌市の犯罪を無くすためには？

自転車の盗難防止のために

- 自転車には、名前を記入する。
- 丈夫なサークル錠やU字型錠で必ずカギをかける。
- 長期間、自転車置き場に放置しない。
- 自転車店で防犯登録をする。



車上あらしに注意

- 車から離れたときに、車内に物を置かない。
- 電灯のない場所、人通りのない場所に車を駐車しない。
- 少しの間でも車から離れるときはドアロックを忘れない。



青少年を守る

- ★不良行為をさせない環境づくりを
- ▼少年非行の原因・背景には、少年自身の問題や家庭の問題、学校での問題、地域社会の問題など様々です。
- また、ごく普通の青少年が興味本位でテレホンクラブや出会い系サイトを利用してしまい、トラブルに巻き込まれるという事件も各地で起きています。

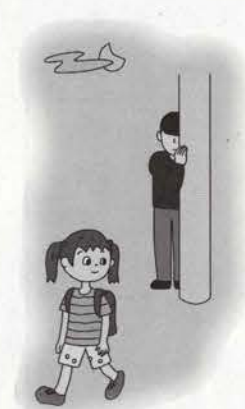


★青少年を犯罪から守るためには

- 普段から子どもとのコミュニケーションをとり、子どもの友だちや行動を把握する。
- 年相応の金銭感覚、行動を身につけさせる。
- 子どもの所持品を把握しておく。
- 携帯電話の利用ルールを決めておく。

- PTAや地域が一体となって子どもを守る意識を高める。
- 子どもが大人に送ってくるサインに敏感に気づいてあげる。
- ★小さな子どもを犯罪の被害から守るためには

- 子どもを深夜時間に外出させない。
- 子どもが外出するときには、必ず行き先を聞く。
- 子どもに、知らない人には、ついて行かないように日ごろから言うておく。
- 子どもを公園、広場などで一人で遊ばせない。
- 怖い目にあったら大声を出すことを教える。



犯罪って、こんなにたくさんあるのね。ビックリしたわ。犯罪者って、子どもや女性やお年寄りみたいに、力の弱いものを狙うんだって、お父さんから聞いたわ。わたしもレディーのはしぐれとして、のんきにはしてられないのよね。なにかあったときには、大きな声で「誰かー！ 助けてー！」ってさけぶのが、一番効果があるんですって。

ボクは、留萌って安全なまちで犯罪なんてないもんだと思ってたんだ。だって、「人を傷つけちゃダメ」「人に嘘をついちゃダメ」「人に迷惑をかけちゃダメ」って、お母さんにいつも言われているんだもん。だから、みんなも守ってるんだろうなって信じてたんだよね。ちょっとガッカリ。でも、お母さんの言ってること、正しいと思うよ。

悪質商法の被害防止のために

▼悪質商法の手口は、実にさまざまで巧妙です。心をくすぐるような話術や手段で、聞き手を引き込んでいきます。

悪質商法にだまされないためには、まず相手をよく知り、よく考えることが大切です。

マルチ商法

会員になって、商品を販売しながら会員を増やすとその見返りとして、自分の地位や販売利益率などが引き上げられます。



コウがポイント

自分の地位を上げるための不必要な商品を大量に購入したり、無理に知人を勧誘することで、人間関係にひびが入ったりします。

また、簡単に会員を増やすことなどできません。権利購入、入会の際は、冷静になって考えてみましょう。



アポイント商法

電話で「選ばれました」「または、会ってお話したい」と、販売目的を隠して、営業所や喫茶店に呼び出され、高額な宝石時計等の商品を売りつけたり、契約させられたりします。



コウがポイント

電話の段階で、きつぱりと「会いません」「いりません」と断り、買う意思が無いことを相手に伝えよう。

万が一、待ち合わせ場所に行っても、しまい断り切れぬ状況になっても、契約書等に記入をしたり、「いいです」「けっこうです」など、あいまいに取れる返答をしてはいけません。

催眠商法

会場に人を集め、洗剤、トイレットペーパーなどの日用品を無料で配り、会場の雰囲気盛り上げて高額な羽毛ぶとんや健康器具等を売りつける商法です。

コウがポイント

こうした集まりには行かないことが賢明です。また、こうした場所を提供しないことも大切です。

クーリングオフとは？

▼法律で指定された商品、権利、役務の提供などの訪問販売は、法定の書面(契約書など)が交付された日から起算して8日以内であれば、無条件で解約することができます。このとき、損害賠償金や違約金を販売業者に支払う必要はありません。

▼ただし、クーリングオフができない場合もあります。健康食品や化粧品などの消耗品を使用したり、一部を消費した場合や通信販売で購入した場合は、ご注意ください。

《この特集の参考文献・資料》
財団法人全国防犯協会連合会『悪質商法 騙しのテクニック』
『安全ガイドブック』

留くん、萌ちゃん、世の中そんなに悪い人たちがばかりがいるわけじゃないんだよ。

子どもたちの安全をいつも考えて、安心して暮らせるように、見守ってくれている人たちがいるんだ。私たち警察官もそのひとりなんだよ。

まちの防犯のことを真剣に考えて、行動している人たちが留萌にはたくさんいるから、もっといろんなところでいろんな話を聞いてみるといいと思うよ。

それじゃあ、車に気をつけていこうだよ。